



キヤリッジ新聞

9月号



7月7日 線香花火ナイト

大切な人に、

想いを伝えていきますか？

平成30年7月豪雨から4年。

吉田町伊達広場一带に、天の川をイメージし灯籠を並べた。ろうそくには 例年通り阪神・淡路大震災、東日本大震災それぞれの被災地から『希望の灯』を分灯して頂き参加者たちがそれぞれの思いを胸に祈りを込め明りを灯した。

その後、全国各地の様子を大型スクリーンに映し、災害で亡くなられた方々に黙祷を捧げ約100人の参加者が灯籠を囲み線香花火に点火。

大切な故人と語り、想える時を。また、目の前にいる大切な人と今生きていることの大切さを想い、絆を確かめる時を過ごした。



吉田公民館避難所運営

8月9日(火)

吉田公民館にて避難所運営。小学生から大人まで多くの参加があった。避難所運営ゲームHUGでは次々と入ってくる避難者や物資などの振り分けにてんやわんや！避難所運営には多くの地域の方の協力が必要だとわかった。

また、パラコードでは子ども達はすぐに覚え、何度も編んでいたが、大人はスタッフが付きっ切り(笑)

夕食では災害時に貴重な水を確保するため、食器にはラップなどをかけ、洗わなくていいよう工夫をした。

「この経験が、もしもの時に役に立つ」という感想があった。

※HUGゲームなどの説明





うわじま防災BOX×子ども食堂 inきさいや広場

防災
体験型
プログラム



子どもを抱いた母親が震度7を体験。我が身を捨てて子どもを守っていたのが印象的だった。

『うわじま防災BOX×子ども食堂』を開催。子ども食堂、3D土石流シミュレーター、起震車、宇和島消防署の消火体験が集結。県砂防課による土砂災害タイムラインシートワークショップが行われ、防災士をはじめ、多くの参加があった。また、子ども食堂連絡協議会から5団体の参加があり750食配布。台風が心配な中ではあったが「貴重な体験ができた」との声が聞けた。

9月17日(土)



特定非営利活動法人
宇和島NPOセンター

宇和島NPOセンターに軽トラが!

災害支援、見守り支援、フードドライブ等で活用していきます。
※わかば基金

もてころ食堂

曇り空で過ごしやすい中、当センターはカフェコーナーでコーヒーなどをふるまった。

地域の方が集い近況報告などをしてるのがとてもいい時間に思える。

茶話会



【災害時の風呂敷活用術講座】
特定非営利活動団体 ひめぼう

木藤 容子さん

風呂敷2枚がリュックサックやシヨルダーバックに!

災害時、水や物資を運ぶのに活用。また、防寒対策もできると。

その他、ラップが紐の代わりになり、窓に貼っておけばガラスが割れた際の破片飛び散り防止になることを教えてもらった。

身近にあるものが、災害時に色々な役立つことがわかった。



お出掛けバスツアー

9月21日(水)

平成30年7月豪雨の被災者、吉田町にお住いの方38名を乗せ伊方町へ。南予きずな博の体験プログラム【苔玉作り】に参加。久し振りに会った友達と、会話を弾ませながら作成。記念撮影には、自分の苔玉を持ち笑顔でパシャリ。昼食は佐田岬はなはなで「しらす御膳」に舌鼓を打った。



きずな博PRイベント イオンモール新居浜

きずな博PRイベントに参加。

なまずの学校と風呂敷活用術を。多くの参加者があった。

「親子で防災の勉強ができてよかった」との声が聞けた。



特定非営利活動法人
宇和島NPOセンター

〒799-3703
愛媛県宇和島市吉田町東小路甲 71-1

0895-49-3563
info@uwajima-npo-center.jp

賛助会員募集中